



株主の皆様へ

代表取締役社長
多田野 宏一

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに2015年度(2015年4月1日から2016年3月31日まで)のご報告をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国経済は、設備投資は持ち直しているものの、新興国経済の減速により輸出は弱含み、個人消費・企業収益・生産が横ばいなど、景気は足踏み状態となっております。欧州経済は持ち直しの動きはあるものの、米国経済は成長が鈍化、新興国では減速の動きが強まりました。中国経済減速による影響、原油価格動向、地政学的リスクに加え、年明け以降は為替・株式相場が大きく変動するなど、不透明感が増しております。

私どもの業界は、日本では、復旧復興・防災減災・インフラ老朽化対策・民間建設投資等により、総じて高稼働率が継続し、需要は高原状態で推移しております。海外では、全体としては需要減少となりました。地域毎にはばらつきが見られ、欧州が増加、東南アジアが微増、中東が微減、北米・中南米が減少しました。

当期は、日本・海外ともに売上高が増加し、販売価格の維持改善、原価低減や為替影響等により、5期連続の増収増益となり、売上高・利益ともに3期連続で過去最高を更新しました。

今後の経済見通しにつきましては、日本では、個人消費の持ち直しや設備投資の増加が期待されるものの、海外経済の減速から輸出は伸び悩み、景気は足踏み状態が続くと見込まれております。海外では、欧州経済の不透明感、米国経済の成長鈍化、新興国経済の減速、為替や原油価格動向、地政学的リスク等が懸念されます。

当社グループを取り巻く市場環境は、日本需要は、復旧復興・防災減災・インフラ老朽化対策や東京オリンピックにともなう建設投資等による高稼働率の継続により、高原状態ではあるものの、新排出ガス規制対応機種への生産移行の影響もあり、やや減少を見込んでおります。海外需要は、新興国経済の減速や原油・資源価格の低迷継続の影響により、地域毎に程度の差はあるものの、減少を見込んでおります。

当社グループは、「中期経営計画(14-16)」において、「強い会社」を基本方針として、3つの重点テーマ実現のために7つの戦略に取り組んでまいります。

「強い会社」とは、いかなる外部環境にあろうとも、「利益を出す」「人を育てる」を毎期継続することができる会社と考えております。

・3つの重点テーマ

- 「更なるグローバル化」：世界の需要構造に適応した事業構造
- 「耐性アップ」：急激な経営環境の変化に左右されにくい体質
- 「競争力強化」：コアバリュー(安全・品質・効率)を軸とした高い顧客価値の提供

・7つの戦略

- ①基幹市場の拡充と戦略市場の拡大
(注：基幹市場＝日本・欧州・北米、戦略市場＝基幹市場以外の市場)
- ②No.1商品の提供とラインナップの充実
- ③グローバル＆フレキシブルものづくりへの取り組み
- ④感動品質、感動サービスの提供
- ⑤ライフサイクル価値の向上
- ⑥収益力のレベルアップ
- ⑦グループ＆グローバル経営基盤の強化

なお、2016年度は、「中期経営計画(14-16)最終年度の仕上げと次期中期経営計画(17-19)の検討」と「市場急落・競争激化への備えと対応」に取り組んでまいります。

私たちタダノグループは、「企業が社会や人との調和の中に生かされている存在」との認識のもと、地域社会・国際社会発展への貢献と地球環境の保全に役立つ事業活動を推進し、全てのステークホルダーの期待に応え、企業価値を最大化することで、「世界に、そして未来に誇れる企業」を目指します。

当期の期末配当金につきましては、1株13円とさせていただくことに決定いたしました。なお、中間配当金13円を合わせ、年間配当金は前期よりも3円増額の1株につき26円となりました。

株主の皆様には、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月

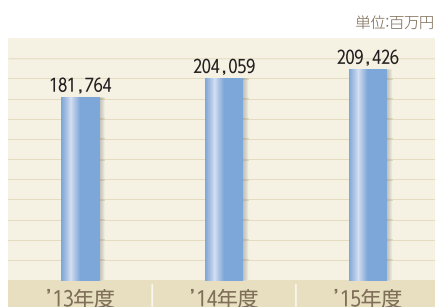
営業の経過及び成果

日本向け売上高は、車両搭載型クレーンの売上が減少したものの、建設用クレーン・高所作業車が増加し、1,049億8千1百万円(前期比104.4%)となりました。海外向け売上高は、大型製品の拡販とプラント・インフラ関連需要の取り込みに注力し、1,044億4千4百万円(前期比100.9%)となり、過去最高を更新しました。この結果、総売上高は2,094億2千6百万円(前期比102.6%)となりました。なお、海外

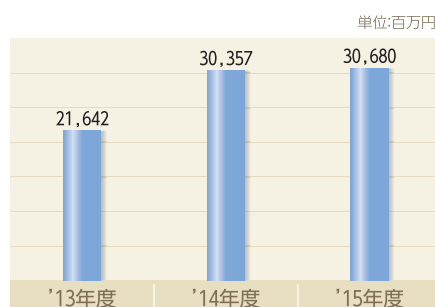
売上高比率は49.9%となりました。

販売価格の維持改善、原価低減や為替影響等により、営業利益は310億6千2百万円(前期比105.4%)、経常利益は306億8千万円(前期比101.1%)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、中国事業に関わる関係会社出資金評価損等の特別損失10億8千万円計上し、196億2千1百万円(前期比100.7%)となりました。

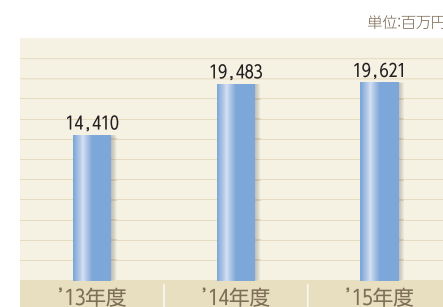
■売上高



■経常利益



■親会社株主に帰属する当期純利益



タダノグループの連結業績の概況

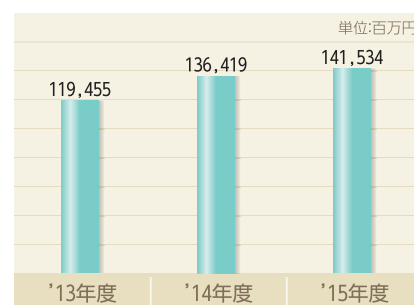
タダノグループの主要品目別売上高の推移

■建設用クレーン

日本向け売上は、需要が高原状態で推移するなか、拡販に注力し、511億4百万円（前期比107.7%）となりました。

海外向け売上は、需要が減少するなか、大型製品の拡販とプラント・インフラ関連需要の取り込みに注力し、904億2千9百万円（前期比101.6%）となりました。

この結果、建設用クレーンの売上高は1,415億3千4百万円（前期比103.7%）となりました。



トラッククレーン
(建設用クレーン)



オールテレーン
クレーン
(建設用クレーン)



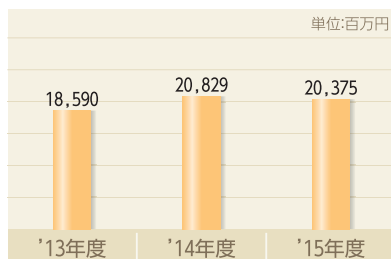
ラフテレーン
クレーン
(建設用クレーン)

■車両搭載型クレーン

日本向け売上は、需要が減少するなか、拡販に注力したものの、186億8千6百万円（前期比94.9%）となりました。

海外向け売上は、新興国向けの販売に注力し、16億8千8百万円（前期比147.5%）となりました。

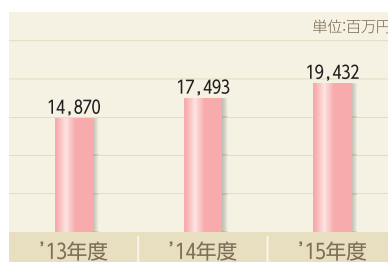
この結果、車両搭載型クレーンの売上高は203億7千5百万円（前期比97.8%）となりました。



カーゴクレーン
(車両搭載型クレーン)

■高所作業車

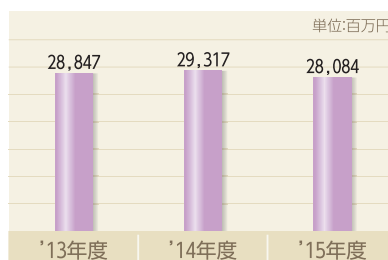
インフラ点検用途のニーズの高まりを背景に需要高水準で推移したレンタル業界に加え、電力電工業界にも設備投資再開の動きが見られ、高所作業車の売上高は194億3千2百万円（前期比111.1%）となりました。



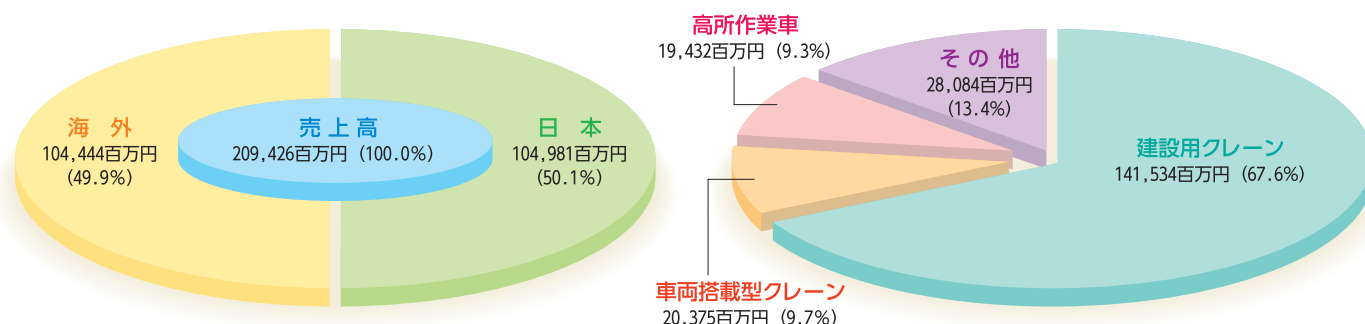
スーパーデッキ
(高所作業車)

■その他

部品、修理、中古車等のその他の売上高は280億8千4百万円（前期比95.8%）となりました。



タダノグループの売上高構成比率 (当期)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(前 期)：2015年3月31日現在 (当 期)：2016年3月31日現在			単位:百万円		
科 目	前 期	当 期	科 目	前 期	当 期
(資 産 の 部)			(負 債 の 部)		
流動資産	172,497	185,483	流動負債	69,832	70,028
現金及び預金	61,533	73,618	支払手形及び買掛金	34,417	35,845
受取手形及び売掛金	52,328	51,143	短期借入金	16,083	16,210
商品及び製品	21,894	24,404	リース債務	242	233
仕掛品	19,844	18,118	未払金	4,498	5,014
原材料及び貯蔵品	9,645	10,499	未払法人税等	6,670	5,523
繰延税金資産	4,107	4,217	引当金	1,784	1,756
その他	3,371	3,626	未経過割賦販売利益	115	207
貸倒引当金	△ 228	△ 144	その他	6,019	5,239
固定資産	51,111	49,917	固定負債	31,634	30,575
有形固定資産	38,292	38,982	社債	10,000	10,000
建物及び構築物	11,713	11,819	長期借入金	10,889	10,023
機械装置及び運搬具	3,162	2,909	リース債務	405	402
土地	20,287	20,176	繰延税金負債	169	166
リース資産	508	534	再評価に係る繰延税金負債	2,222	2,109
建設仮勘定	658	1,473	退職給付に係る負債	7,423	7,322
その他	1,961	2,067	その他	524	550
無形固定資産	1,258	1,187	負債合計	101,467	100,603
投資その他の資産	11,560	9,747	(純 資 産 の 部)		
投資有価証券	7,849	5,407	株主資本	116,796	133,190
繰延税金資産	1,352	2,677	資本金	13,021	13,021
その他	3,322	2,513	資本剰余金	16,849	16,850
貸倒引当金	△ 964	△ 851	利益剰余金	89,513	105,960
			自己株式	△ 2,587	△ 2,642
			その他の包括利益累計額	4,576	1,024
			その他有価証券評価差額金	2,391	850
			土地再評価差額金	1,108	1,228
			為替換算調整勘定	2,110	△ 112
			退職給付に係る調整累計額	△ 1,033	△ 942
			非支配株主持分	767	582
			純資産合計	122,141	134,796
資産合計	223,608	235,400	負債純資産合計	223,608	235,400

連結損益計算書

(前 期)：2014年4月1日から2015年3月31日まで (当 期)：2015年4月1日から2016年3月31日まで			単位:百万円		
科 目	前 期	当 期	科 目	前 期	当 期
売上高	204,059	209,426			
売上原価	144,219	146,298			
割賦販売利益繰延前売上総利益	59,839	63,127			
未経過割賦販売利益戻入	95	113			
未経過割賦販売利益繰入	94	205			
売上総利益	59,841	63,036			
販売費及び一般管理費	30,378	31,973			
営業利益	29,462	31,062			
営業外収益	1,731	623			
営業外費用	837	1,006			
経常利益	30,357	30,680			
特別利益	44	517			
特別損失	71	1,080			
税金等調整前当期純利益	30,329	30,117			
法人税、住民税及び事業税	11,135	11,412			
法人税等調整額	△ 332	△ 803			
当期純利益	19,526	19,508			
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	42	△ 113			
親会社株主に帰属する当期純利益	19,483	19,621			

連結キャッシュ・フロー計算書

(前 期)：2014年4月1日から2015年3月31日まで (当 期)：2015年4月1日から2016年3月31日まで			単位:百万円		
科 目	前 期	当 期	科 目	前 期	当 期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	19,800	19,387			
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,079	△ 3,758			
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,287	△ 3,136			
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	1,673	△ 634			
V 現金及び現金同等物の増減額	13,106	11,857			
VI 現金及び現金同等物の期首残高	48,156	61,262			
VII 現金及び現金同等物の期末残高	61,262	73,120			

ラフテレーンクレーン「CREVO500 G3α」を発売

当社のラフテレーンクレーンの製品ラインナップの中で、25t吊りから70t吊りの間をカバーする中間機種として、お客様よりご要望の高い50t吊りラフテレーンクレーンを2015年4月に発売しました。新開発の3軸キャリヤは軽量、コンパクトな仕様となっており、また、クラス最長の3段ジブにより高揚程作業における作業領域を拡大しました。



GR-500N

海外向け大型ラフテレーンクレーン 生産・出荷1,000台達成

2011年に発売を開始したラフテレーンクレーン「GR-1000XL/800EX」が、2015年5月に、大型ラフテレーンクレーンとしては異例の4年弱という短期間で生産・出荷1,000台を達成しました。これを記念して、志度工場に出車式典を行い、当社社員の盛大な拍手と歓声の中、1,000台目の記念号機をアメリカへと送り出しました。



タダノ首都圏部品センター設立

千葉県に「タダノ首都圏部品センター」を設立し、2015年6月より稼働を開始しました。これにより、首都圏のお客様への部品販売のデリバリータイムを短縮することができました。

既存の部品センターと合わせて日本国内の部品供給拠点は7拠点となり、お客様のマシンダウンタイムを短縮し、お客様により充実した「感動サービス」を提供いたします。



タダノ首都圏部品センターが入居するロジポート流山

CONEXPO Latin America 2015 出展

2015年10月、中南米で初めて総合建機展が開催されました。競合会社を含め、約300社が出展する中、タダノからはGR-1000XLとATF100G-4を出展しました。開催国チリをはじめ、ブラジル、アルゼンチン、コロンビア、ペルーなど中南米の多数のお客様にタダノブースを訪れていただき、高品質、高性能なタダノ製品を広くアピールする大変良い機会となりました。



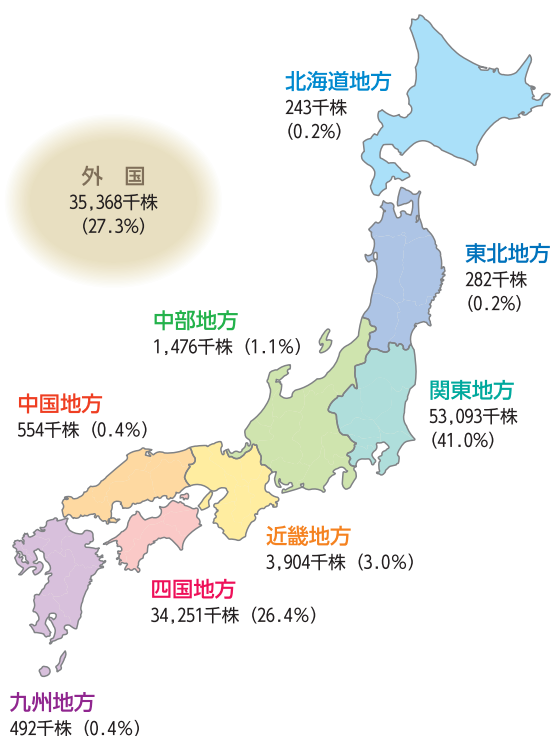
株式の状況 (2016年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	129,500,355株
株主数	7,275名

注) 発行済株式の総数には、自己株式2,867,457株を含んでおります。

地域別株式分布状況



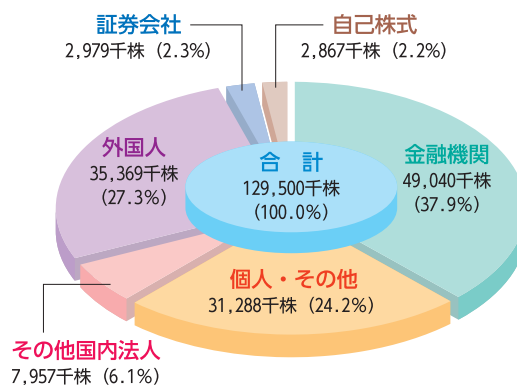
注) 四国地方には、自己株式2,867,457株を含んでおります。

大株主

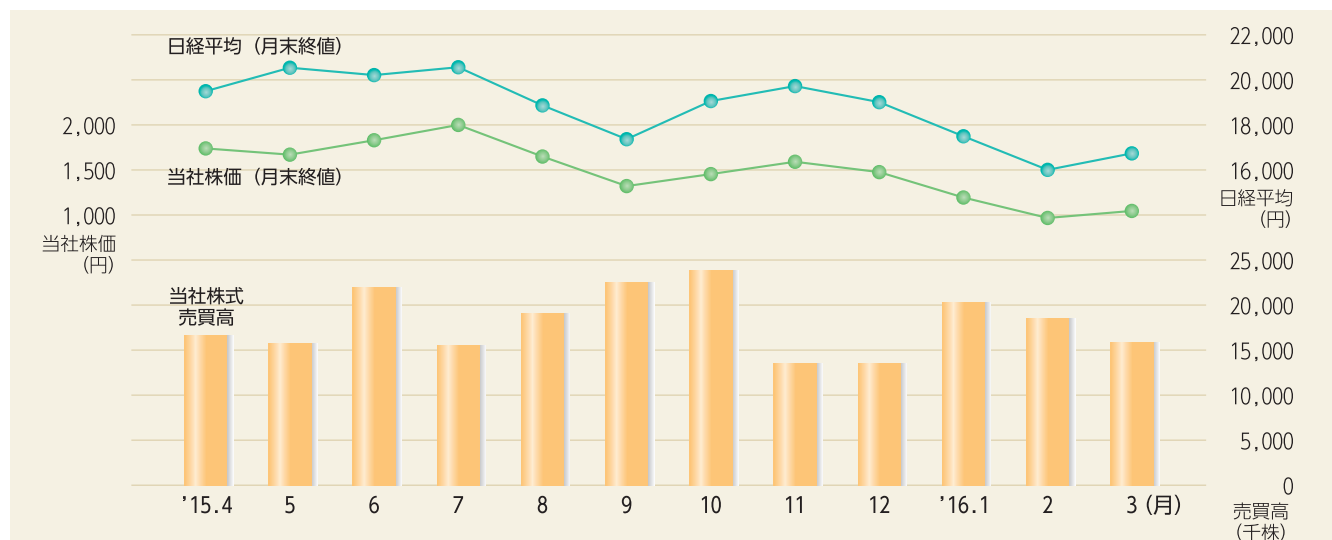
株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	10,697	8.4
日本生命保険相互会社	6,324	4.9
株式会社みずほ銀行	6,246	4.9
株式会社百十四銀行	6,171	4.8
明治安田生命保険相互会社	4,071	3.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,367	2.6
第一生命保険株式会社	3,330	2.6
タダノ取引先持株会	2,812	2.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,179	1.7
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	1,925	1.5

注) 1. 当社は自己株式を2,867,457株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 3. 信託銀行各社の所有株式数は、すべて当該各社の信託業務に係る株式であります。
 4. 生命保険各社の所有株式数には、特別勘定口に係る株式数を含んでおります。

所有者別株式分布状況



株価及び株式売買高の推移



注) 東京証券取引所市場第一部におけるものです。

会社概要

概 要 (2016年 3月31日現在)

商 号	株式会社タダノ TADANO LTD.
資 本 金	13,021,568,461円(発行済株式の総数 129,500,355株)
設 立	1948年 8月24日
従 業 員 数	単独1,505名 連結3,433名
事 業 内 容	建設用クレーン、車両搭載型クレーン及び高所作業車等の製造販売
本 社	香川県高松市新田町甲34番地
工 場	高松工場(高松市)、志度工場(さぬき市)、 多度津工場(香川県多度津町)、千葉工場(千葉市)
研 究 所・試 験 場	技術研究所(高松市)、三本松試験場(東かがわ市)
支 店・営 業 所	10支店・23営業所
海 外 事 務 所	北京事務所、中東事務所

グ ル ー プ 公 司

〔国内〕	〔海外〕
株式会社タダノアイメス	タダノ・ファウンGmbH [ドイツ]
株式会社タダノアイレック	タダノ・ファウン・シュタルパウGmbH [ドイツ]
株式会社タダノエステック	タダノ・ユーケーLtd. [イギリス]
株式会社タダノエンジニアリング	タダノ・フランスSAS [フランス]
株式会社タダノテクノ東日本	タダノ・アメリカCorp. [アメリカ]
株式会社タダノテクノ西日本	タダノ・マンティスCorp. [アメリカ]
太平洋機工株式会社	タダノ・アメリカ・ホールディングスInc. [アメリカ]
株式会社タダノ教習センター	タダノ・パナマS.A. [パナマ]
株式会社タダノ物流	タダノ・ブラジル・イクバントス・デ・エルヴァサソLtda. [ブラジル]
株式会社タダノシステムズ	多田野(北京)科貿有限公司 [中国]
株式会社タダノビジネスサポート	京城多田野(北京)液圧機器有限公司 [中国]
日通重機サービス株式会社 *	金天利多田野(河北)金属加工有限公司 [中国]
	韓国多田野株式会社 [韓国]
	タダノ・アジアPte.Ltd. [シンガポール]
	タダノ・タイランドCo.,Ltd. [タイ]
	タダノ・タイ・パーツ・アンド・サービスCo.,Ltd. [タイ]
	タダノ・インドPvt.Ltd. [インド]
	タダノ・オセアニアPty.Ltd [オーストラリア]
	北起多田野(北京)起重機有限公司 [中国] *
	台湾多田野股份有限公司 [台湾] *

注) *印は関連会社、他は全て連結子会社です。

役 員 (2016年 6月24日現在)

代 表 取 締 役 社 長	多 田 野 宏 一
取 締 役 副 社 長	鈴 木 正 環
取 締 役・執 行 役 員 常 務	奥 山 陽 一 朗
取 締 役・執 行 役 員 常 務	西 藤 伸 彦*
取 締 役	伊 藤 康 之*
取 締 役	吉 田 康 之*
執 行 役 員 常 務	アレクサンダー・クネヒト
執 行 役 員 常 務	飯 村 慎 一
執 行 役 員 常 務	高 梨 利 幸
執 行 役 員 常 務	橋 倉 莊 六
執 行 役 員	程 倉 一 箭
執 行 役 員	澤 田 憲 一
執 行 役 員	川 本 親 之
執 行 役 員	藤 野 博 彦
執 行 役 員	北 村 明 啓
執 行 役 員	高 多 田 野 有 司
執 行 役 員	池 浦 雅 彦
執 行 役 員	林 宏 三 司
執 行 役 員	徳 田 裕 司
執 行 役 員	五 味 幸 雄 一
執 行 役 員	官 野 耕 一
常 勤 監 査 役	児 玉 義 人 司
常 勤 監 査 役	大 鹿 隆 和 司*
常 勤 監 査 役	井 之 川 司*
監 査 役	三 宅 雄 一 郎*

注) *印は、社外取締役及び社外監査役であります。



タダノ・ファウンGmbH [ドイツ]
(建設用クレーン等の製造・販売)

株 主 メ ト

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
基 準 日	定時株主総会については毎年3月31日 その他必要がある場合には、あらかじめ公告して定めます。
公 告 の 方 法	電子公告により、当社ホームページ(http://www.tadano.co.jp/)に掲載いたします。ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
お 取 扱 窓 口	証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、お取引の証券会社等へご連絡をお願いいたします。証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取扱いいたします。なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。
お 問 合 せ 先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 ☎0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
お 取 扱 店	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未 払 配 当 金 の お 支 払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

ホームぺージのお知らせ

ホームページにアクセスしていただきますと、当社の各種情報をご覧いただけます。



<http://www.tadano.co.jp/>

